

令和7年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰

園 名	出水市立西出水小学校附属紫翠幼稚園
-----	-------------------

【主な実践】

読書活動を園経営の柱に位置付け、園全体で年間を通した取組が行われ、園児が主体的に本に関わる機会を設けている。

保護者、職員、有志団体による読み聞かせのほか、近隣にある野田女子高の生徒による読み聞かせを行うなど、多様な人材の活用による読み聞かせを行っている。

また、エプロンシアター、大型絵本などによる多様な方法での読み聞かせや、年齢別ブックタイムにより発達段階に応じた読み聞かせを行っている。

学校名	出水市立江内小学校
-----	-----------

【主な実践】

家庭や地域との連携が充実しており、月1回、地域ボランティアによる読み語り（一般的に読み聞かせのこと）や保護者（希望者）による読書会に取り組んでいる。また、家読（うちどく）ウィークを設定し、家読推薦図書の中から選んだ本を読み、家族内で感想等を交流したり、図書館だより等で取組を紹介したりしている。

読書意欲を喚起する取組が充実しており、年に1回、全学年、隣接する中学校の図書館見学を行い、置いてある本や読書環境を知る機会を設定している。また、読書郵便やミニ・ビブリオバトル大会、図書委員会による読書クイズ等の活動など、鑑賞したことをもとに自分の思いや考えを表現する楽しさを味わう活動を継続的に行っている。

学校名	出水市立野田中学校
-----	-----------

【主な実践】

家庭や地域との連携が充実しており、学期1～2回、学級ごとに野田地区読書ボランティアによる読み聞かせを行うとともに、家読（うちどく）20分読書運動の取組として、家族へのギフトブックや家庭との読書回覧を実施している。

また、各学年で野田図書館へ集団訪問し、本の貸し出しサービスを利用したり、読書郵便など生徒の作品を野田図書館に展示したりしている。さらに、週4日、15分間朝読書の実施、小学校と連携を図りながらオンライン読書交流や夏休み合同図書館イベント、読書パネル小中合同製作など、さまざまな読書活動に取り組んでいる。

学校名	県立垂水高等学校
-----	----------

【主な実践】

地域の小学校での読み聞かせや、垂水市立図書館の団体貸出を活用するなど、地域と連携した読書活動が充実している。

クイズ等を取り入れた充実した図書館オリエンテーションを実施している。

中学生の一日体験入学時に読書補助具であるリーディングトラッカーを作成したり、生徒全員参加の校内ビブリオバトルを実施したりするなど、学校全体で読書活動を推進している。また、図書委員による卒業生向けの図書委員会だよりの発行や、ブックマップを作成など、生徒主体の取組を通して読書意欲の喚起に努めている。

館 名	始良市立中央図書館
-----	-----------

【主な実践】

市立図書館が中心となり、教育委員会、小中学校、公立幼稚園、給食センターが連携し、学校給食で物語の中に出てきたメニューを提供する「ものがたりレシピをいただきます」という取組を実施している。

小中学生の夏休みの宿題や自由研究に役立つ各種講座を実施し、本に対する興味を高めるため、「夏休み図書館講座」を実施している。

また、小学校高学年から高校生までのYA（ヤングアダルト）世代を対象とした、「図書館便りYA」という季刊紙を年に4回発行し、読書に対する興味・関心を高めている。

団体名	おじゃはんか入来かたいもんそ会
-----	-----------------

【主な実践】

平成18年の発足以来、地域に伝わる昔話等を紙芝居にして鹿児島弁で実演したり、素話で語ったりしています。

公立図書館、子ども園、小・中学校でのお話会を、それぞれ年10回以上実施している。

また、国指定文化財「旧増田家住宅」で、季節の行事にちなんだお話会を実施するなど、地域に根付いた活動を続けている。

月1回「おじゃはんか便り」を発行し、学校、市立図書館、地域コミュニティ協議会へ配布している。